さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

飯野さん ブドウ畑転作

88歳 140品種の果物栽培

14年の大雪転機「挑戦続ける」

甲府市蓬沢1丁目の農業飯野桂さん(88)は所有する畑で20種類、計約140品種の果物を栽培している。ブドウや桃の代表的な品種から、県内では栽培事例が少ないとされる北米原産のポポー、プルーンまで手がける。ブドウ農家から70歳代後半で多種栽培に挑んだ飯野さん。「今後もさまざまな種類を栽培したい」と話し、意欲は衰えない。〈山本昂輝〉



ポポーの状態を確認する飯野桂さん＝甲府市蓬沢1丁目

ブドウだけを栽培していた飯野さんだったが、2014年2月の記録的な大雪が転機となった。ブドウ棚の一部がつぶれた際に「さまざまな品種に挑戦してみよう」（飯野さん）と転作を始めた。自宅周辺の約3300平方㍍の畑に毎年5～10種を植え、140種まで増やしたという。

県農業技術課担当者は「個人農家で100品種以上の栽培に取り組むというのはかなり珍しい」と話す。

飯野さんが栽培するのはブドウや桃、リンゴ、梨、スモモ、キウイなど20種類の果物。品種はブドウが「シャインマスカット」「甲州」、リンゴは「ふじ」、スモモは「ソルダム」など。ポポーは「スイートアリス」、プルーンは「スタンレイ」、アンズは「平和」を栽培している。

市農政課によると、甲府盆地は降水量が少なく、日照時間が長いなど多様な農産物を栽培できる条件がそろっているという。飯野さんは「これだけの品種は全国どこでも育てられるわけではない。果物を育てやすい環境が整った甲府盆地だからできること」と説明する。

作物ごとに栽培の手法が異なる上、作業量も多いため、飯野さんの起床時間は年間を通して午前5時。収穫に追われる夏から秋のほかに冬場も剪定などの作業で多忙という。

飯野さんは「果物は手をかければかけるほど応えてくれるので、いいものができたときは本当にうれしい。新しいことへの挑戦が生きがいなので今後も続けたい」と話している。



山本 昂輝
桑原久美子

（2026年9月29日付 山梨日日新聞15面）

問1

甲府市の飯野さんは、何種類の果物を、約何品種栽培していますか。

・＿＿＿＿種類、・約＿＿＿＿品種

問2

以前は、ブドウだけを栽培していた飯野さんが、多種栽培を始めたきっかけを答えてください。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問3

甲府盆地が、いろんな果物を育てやすい理由を、答えてください。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2026 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.